



ともに学び、育ち、生きる社会とは

～インクルーシブ教育の実践例に学ぶ～

現場で明日から使える

支援のヒントが得られます



インクルーシブ教育って、具体的にはどうしたらいいの？導入したいけど、そのやり方が分からない、という方も多いのではないのでしょうか。

基調講演で考え方や課題を知るとともに、「すべての児童が『学校生活が楽しい』、『学びが楽しい』と言える学校」を目指し学校改革に取り組んできた埼玉県戸田市の実践例を通して、インクルーシブ教育をどう実現するか、一緒に学びあいましょう。



※地下鉄「丸の内」駅1番出口より徒歩7分
地下鉄「名古屋城」駅6番出口より徒歩8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

日時 令和7年

9/6 土

午後1時30分～午後4時30分
[午後1時開場]

場所

愛知県弁護士会館
5階「ホール」
(名古屋市中区三の丸1-4-2)

Zoomウェビナー併用

会場 手話通訳有

Zoomでご参加の方はZoom内
字幕文字起こし機能をご利用ください。

参加費 無 料

会場: 120人 Zoom: 500人
先着順 事前申込不要
<https://us06web.zoom.us/j/81333147983>
Zoomはこちらから

[注意] 資料の無断使用、無断転載不可
当日投影資料の写真撮影・スクリーンショット不可

プログラム内容

基調講演

「日本におけるインクルーシブ教育の現状と課題」

講 師

野口晃菜さん

(博士(障害科学)/一般社団法人UNIVA理事/
戸田市インクルーシブ教育戦略官/東京学芸大学非常勤講師)



パネルディスカッション

パネリスト

野口晃菜さん

藤本恵美さん(埼玉県戸田市教育委員会教育政策室指導主事)

コーディネーター

間宮静香さん

(愛知県弁護士会子どもの権利委員会委員/日弁連子どもの権利委員会副委員長)



主催 愛知県弁護士会
名古屋市中区三の丸1-4-2

電話 052-203-1651

共催: 日本弁護士連合会

後援: 愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会